

日本サービス・ラーニング・ネットワーク主催
第8回サービス・ラーニング全国フォーラム
テーマ：「サービス」と「ラーニング」を融合する授業デザイン
ー学びを最大化するためにー

新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され、学外活動を伴う授業を再開する大学が増えてきました。体験学習が重要な役割を果たすサービス・ラーニングも、コロナ禍を経てようやく従来の規模での活動や交流の実施ができるのではと期待が高まっています。一方で、一度縮小してしまった予算や人員の確保、失われた学外との関係の再構築、以前のノウハウの掘り起こしなどは、授業運営において大きな課題となっています。

こうしたリソースの縮小に加え、サービス・ラーニングを実践する教員やコーディネーターは、限られた授業時間数や、あらかじめ決められている成績評価のタイミング、学習成果の可視化、費用や安全管理など、さまざまな制約に向き合いながら授業やプログラムをデザインしています。調整の過程において、時には活動の内容を当初の想定から変更せざるをえなかったり、活動のインパクトが受け入れ先のニーズを満たしきれなかったりと、様々な課題に直面しているのではないのでしょうか。

8回目となる今回のサービス・ラーニング全国フォーラムは、「『サービス』と『ラーニング』」を融合する授業デザインー学びを最大化するためにー」をテーマとし、授業やプログラムの実践において実務者が抱えている課題について改めて整理し、その課題を克服するヒントを探る機会にしたいと考えています。

午前の全体会では、サービス・ラーニングを含む体験学習における「学びの最大化」について焦点を当て、いくつかの事例紹介と本質的な問いを交えることで、理想的なプログラム展開を阻む要因が何かを会場のみなさんと一緒に探ります。午後は3つの分科会に分かれ、活動先のニーズに合致した「サービス」の実践と、学習者の「ラーニング」を両立する授業やプログラムのデザインについて掘り下げます。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

日時： 2024年5月19日（日）10:00-17:00
会場： 立教大学池袋キャンパス（対面のみ）
主催： 日本サービス・ラーニング・ネットワーク（JSLN）
協力： 立教サービスラーニングセンター（RSL）
申込方法： Googleフォーム（リンク or QRコード）からお申込みください。
<https://forms.gle/oEJpP3c89g3PMP2N8>
参加費： JSLN会員 無料、一般非会員 3,000円
大学生・大学院生 1,000円
情報交換会 4,000円
※下記「ゆうちょ銀行」振込先にお支払いください。
尚、ご入金後の返金は致しかねます。ご了承ください。
申込・振込〆切： 2024年 5月12日（日）
問合せ先： japanslnetwork@gmail.com



第8回 サービス・ラーニング全国フォーラム プログラム

9:00 - 9:30	総会
9:30 - 10:00	理事会
9:30	受付
10:00 - 10:30	開会 挨拶：西原廉太（立教大学総長） 唐木清志（日本サービス・ラーニング・ネットワーク代表） 立教サービスラーニングセンターの設立経緯と取組みの紹介 中沢聖史（立教サービスラーニングセンター副センター長） 全体司会：渡邊暁子（文教大学）
10:30 - 12:30	全体会 「サービス・ラーニング」が重視する体験とはなにか 登壇者：和栗百恵（福岡女子大学） 中沢聖史（立教サービスラーニングセンター）
12:30 - 13:30	休憩
13:30 - 15:00	分科会 第1分科会 「海外における「サービス」と「ラーニング」のデザイン」 海外をフィールドとしたSLの実践においては、異文化理解や環境適応、また危機管理等、コーディネーションとマネジメントの観点か求められることが多いが、特に、コミュニティでのサービス活動と学生の学びを結び付けていくプログラムの設計のポイントについて、大学での実践と理論の両側面から検討していく。 報告者 日下部 尚徳（立教大学） 報告者 中沢 聖史（立教大学） 報告者 黒沼 敦子（国際基督教大学） コーディネーター 秋元 みどり（青山学院大学） 第2分科会 「初等中等教育における「サービス」と「ラーニング」のデザイン」 初等教育（小学校）、中等教育（中学校及び高等学校）において、「サービスラーニング」と銘打って実践されている取組みは、必ずしも多くないのが現状である。しかしながら、体験としての「サービス」と学習としての「ラーニング」をいかに統合させて、児童生徒の学習成果をどのように高めるかに関しては、これまでに多くの取組みがなされてきた。本分科会では、学校教育現場で実践に関わる教員の発表を中心として、初等中等教育においてサービスラーニングを成立させる条件にはどのようなことがあるのか、また、実践を進める上でどのような障壁があり、その障壁を乗り越えるためにどのような手立てが考えられるのか、「サービス」と「ラーニング」のデザインのあり方について、協議を進めたいと考えている。 報告者 小谷 勇人（埼玉県春日部市立武里中学校） 報告者 羽富 康成（茨城県立古河第二高等学校）

	<p>コーディネーター 唐木 清志（筑波大学） 石筒 覚（高知大学）</p> <p>第3分科会 「大学教育における「サービス」と「ラーニング」のデザイン」 大学教育の中で実践されているサービス・ラーニング・プログラムや地域連携事業のデザインについて、それぞれの取り組みを共有する。どのような社会の変容を目指し、何をプログラム目標において、今の実践に取り組んでいるのか。目標を達成するために、どんな人々・組織と、こういった地域・コミュニティでの活動を選択しているか。そして活動と学びをつなげる「リフレクション」を、いつ、何を問い、誰とともに行なっているのか？ 報告者からの発表を受けて、後半には参加者同士で、実践の手応えや課題など経験共有をできればと考えている。</p> <p>報告者 馬場 洸志（梅光学院大学）・宋 弘揚（梅光学院大学） 真田 穰人（兵庫教育大学） 報告者 江藤 佑（桜美林大学） ご報告を踏まえて参加者による経験共有ミニワークショップ</p> <p>コーディネーター 川田 麻記（桜美林大学） 秋吉 恵（立命館大学）</p>
15:30-17:00	<p>ワークショップ 「サービス・ラーニングのエッセンスを学ぶ」 本ワークショップは、バーバラ・ジャコビー氏の『Service-Learning Essentials: Questions, Answers, and Lessons Learned』日本語翻訳本の刊行を記念して開催する。ワールドカフェ形式を採用し、参加者はそれぞれ関心のあるサービス・ラーニングの理論と実践のトピックについて、各テーブルに分かれて語り合う。原著の翻訳担当者を中心に、前日のプレ企画参加者の有志の方々にも進行の一部をサポートいただく予定である。</p> <p>コーディネーター 『Service-Learning Essentials』 翻訳本編集幹事 山下美樹（麗澤大学） 山口洋典（立命館大学） 山田一隆（東海大学） 黒沼敦子（国際基督教大学）</p>
17:00	閉会
18:00	情報交換会

【プレ企画】

「未来型読書法で読む『Service-Learning Essentials』」

日時：5/18（土）13:30 - 17:00（13:15受付）

会場：立命館東京キャンパス

JR東京駅日本橋口出口より直結徒歩1分

（東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階）

主催：『Service-Learning Essentials』 翻訳本編集幹事

内容：[アクティブ・ブック・ダイアログ（ABD）](#)の手法を用い、1冊の本を分担して読んで要点をまとめ、発表し共有する。参加者同士の対話を通してBarbara Jacoby著『Service-Learning Essentials』（日本語翻訳本）の内容を理解する協働的な読書体験の機会を提供する。プレ企画の参加者（有志）には、フォーラム当日のワークショップの進行の一部を担っていただく予定。

参加費：無料

定員：20名



申込方法：Googleフォーム（リンク or QRコード）からお申込みください。

<https://forms.gle/pvNBJhYDFSLzB7h8>

申込〆切：2024年5月12日（日）

備考：前日プレ企画及び当日ワークショップ、両日参加歓迎。ただし、一方の参加でも本書の内容に触れられるよう各企画を実施する。

【参加費・情報交換会費 お振込み先】

<銀行名> ゆうちょ銀行 <店名> 〇ー八（読み ゼロイチハチ）

<店番> 〇18 <預金種目> 普通預金

<口座番号> 7264312

<口座名> 日本サービス・ラーニング・ネットワーク

*恐れ入りますが、振込手数料をご負担願います。